



2



1

# aya Biosphere Reserve

## 「綾ユネスコエコパーク」 未来への第一歩

### 「綾ユネスコエコパーク」 登録を祝う

9月1日、綾町公民館文化ホールで、綾ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）登録決定を記念して、「綾ユネスコエコパーク登録記念式典」が開催された。

式典は文部科学省国際統括官であり日本ユネスコ国内委員会事務総長の加藤重治氏、林野庁九州森林管理局長の平之山俊作氏、河野俊嗣宮崎県知事をはじめ、町内外より約620人が参加。「綾町の自治公民館活動」を始めこれまでの町づくりの取り組みを振り返り、エコパーク登録に関する理解を深めた。

第1部のオープニングは日本の伝統楽器「笙（しょう）」による雅楽の演奏と、森にちなんだ詞の朗読により厳かな雰囲気で幕を開けた。その後、前町長が「ユネスコエコパーク登録は先人たちの努力と町民をはじめ、関係するみなさんのご尽力のおかげ、これからも持続可能な地域づくりに取り組んでいきたい」と未来への決意を新たに示した。また、河野宮崎県知事は「ユネスコは素晴らしいが、綾町は綾町の素晴らしいさがある。決してユネスコに迎合せず、世界に綾町の素晴らしいさを発信してほしい」とあいさつした。



会場ロビーでは、「宮崎県出身の写真家 黒木一明 写真展」も同時開催された。また、同ロビーには綾中学校の生徒による寄せ書き「故郷にかける“夢”」も展示された



①綾ユネスコ エコパーク登録記念式典の様子／  
②オープニングで披露された「笙」の演奏／③  
祝賀会で歌を披露する歌手の「MisaChi」さん／  
④式典で「ユネスコ エコパークの概念と理念」  
について講演する松田裕之氏／⑤綾町の未来に  
ついて英語でスピーチした綾中学校の山田誠士く  
ん（3年生）／⑥アトラクションで美しい歌声を  
披露する綾小学校合唱部

また、式典後は、酒泉の杜で登録記念祝賀会も開催された。オープニングは歌手の「MisaChi」さんが綾エコパークオフィシャルソング「Shining Leaf Story」を披露。その素晴らしい歌声に多くの参加者が魅了された。

コパークの概念と理念」について、そして、東京大学教授の鬼頭秀一氏が「ユネスコエコパークに繋がった綾町の取り組みと未来」として古屋地区のふれあい調査などにおける市民の草の根活動の意義について講演した。

第3部のアトラクションでは綾小学校合唱団によるコーラス、綾中学校3年生の山田誠士くんの英語によるスピーチや宮崎大学教育学部の学生による綾町へのまちづくりへの提案発表が行われた。式典開催を通して、ユネスコエコパーク登録によりこれから綾町が進むべき方向性が示され、『ユネスコエコパーク綾』としての新たな地域づくりへの第一歩を踏み出した。

## MAB委員会綾町視察

綾ユネスコエコパークの登録を受け、エコパークの推薦・広報に携わる、日韓両国の専門家が8月17日、綾町を視察した。

今回、訪れたのは韓国MAB(人間と生物圏)国内委員会の崔 清一委員長と日本MAB計画委員会の松田裕之委員長ら5人で、役場で前町町長より綾町のまちづくりの説明を受けた後、綾の照葉樹林の保護・復元地域を訪れ説明を受けた。視察後、崔委員長は、「これほどに照葉樹林の原生林が残されていることは素晴らしいこと。」「エコパークに登録されたことをひとつのブランドとして、今後さらに町を盛り上げてほしい」と語った。



①役場前での記念撮影  
②綾町の照葉樹林保護・復元の説明を受ける崔清一委員長ら  
③照葉大吊橋を視察